



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

bizhub 2030/2030f

取扱説明書 コピー編



第 1 章 コピーのしかた

1

第 2 章 コピー機能

2

第 3 章 機器設定のしかた

3

目次

本書の表示について	iii
安全に関する表示	iii
操作キーとボタンの表記	iii
原稿・用紙向きの表記	iii
画面について	iv

第 1 章 コピーのしかた

コピーの前に	1-2
コピー禁止事項	1-2
原稿の自動検知について	1-3
コピー中にメモリーオーバーしたとき	1-4
基本的なコピー操作	1-5
用紙を選んでコピーする（用紙）	1-6
手差しトレイを使ってコピーする	1-7

第 2 章 コピー機能

機能一覧	2-2
使用できる機能について	2-2
自動両面原稿送り装置について	2-5
コピー機能	2-6
画質を設定する（画質）	2-6
濃度を設定する（濃度）	2-7
用紙を仕分けする（仕分け）	2-8
拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）	2-10
コピー前にイメージを確認する（仕上がりプレビュー）	2-15
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約）	2-17
1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）	2-19
別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）	2-20
パンチの目印を付ける（センターマーク印字）	2-22
割り込んでコピーする	2-23
大きさの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）	2-24
原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）	2-25
両面コピーする（両面）	2-26
小冊子になるようにコピーする（小冊子）	2-28
カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする（カードコピー）	2-30
2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割）	2-32
三つ折りの目印を付ける（三つ折りマーク印字）	2-33
文字の左右を逆にコピーする（鏡像）	2-34

第 3 章 機器設定のしかた

初期値を設定する	3-2
コピー機能の初期値を設定する	3-2
初期値設定一覧	3-4
コピー予約を設定する	3-5

本書の表示について

安全に関する表示

本書では、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項や操作する上での重要情報に、以下のマークをつけています。

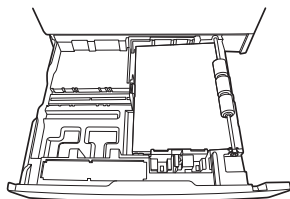
 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のある警告事項が書かれています。 安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 お願い	誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。
 補足	操作の参考情報や補足説明が書かれています。

操作キーとボタンの表記

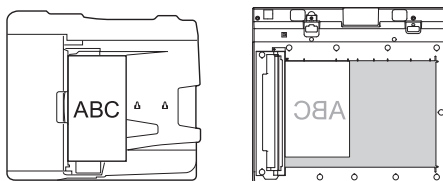
- 〈 〉 操作パネル上のキー
（例：スタートキー → 〈スタート〉）
- [] タッチパネル上のボタンやコンピューター画面上のボタンなど
（例：画質ボタン → [画質]）

原稿・用紙向きの表記

 記号：用紙を機械正面から見て縦にセットすることを表します。



 記号：原稿を機械正面から見て縦にセットすることを表します。



画面について

本書は、特に断りがない限り bizhub 2030f に給紙ユニットを 3 段装着したときの画像を使用しています。機種やオプションの装着によっては、画像が異なる場合があります。

第 1 章

コピーのしかた

コピーの前に	1-2
コピー禁止事項	1-2
原稿の自動検知について	1-3
コピー中にメモリーオーバーしたとき	1-4
基本的なコピー操作	1-5
用紙を選んでコピーする（用紙）	1-6
手差しトレイを使ってコピーする	1-7

コピーの前に

コピー禁止事項

本製品で何をコピーしてもよいわけではありません。

特に法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

□ 法律によりコピーを禁止されているもの

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券

外国紙幣、証券類

未使用郵便切手、はがき類

政府発行の印紙、税法で規定されている証券類

<関係法律>

- ◆ 通貨及証券模造取締法
- ◆ 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- ◆ 郵便切手類模造等取締法
- ◆ 印紙等模造取締法
- ◆ 紙幣類似証券取締法

□ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

□ 注意を必要とするもの

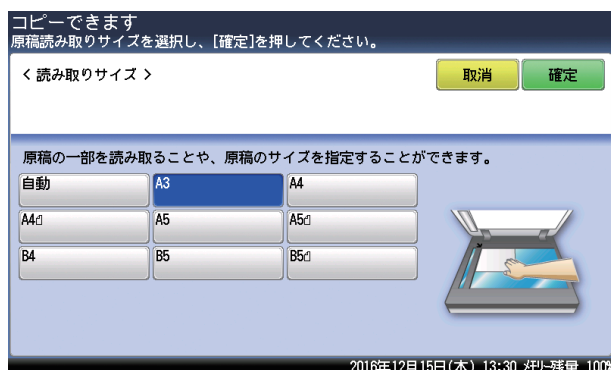
政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

原稿の自動検知について

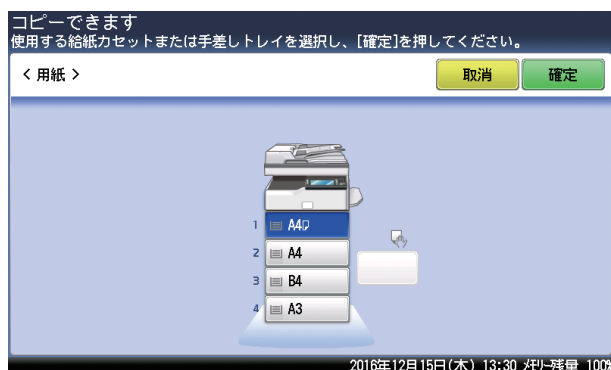
原稿ガラスに A4 や B5 など定形サイズの原稿をセットすると、自動でサイズが検知されます。不定形サイズの原稿をコピーする場合は、画面からコピーする用紙を選択するか、「読み取りサイズ」を押して読み取りサイズを選択してからコピーします。

- 拡大／縮小設定が自動の場合に、原稿サイズを自動検知できなかったとき
読み取りサイズ選択画面が表示されます。読み取りサイズを選択し、「確定」を押します。



- 用紙選択が自動の場合に、原稿サイズに合った適切な用紙がないとき

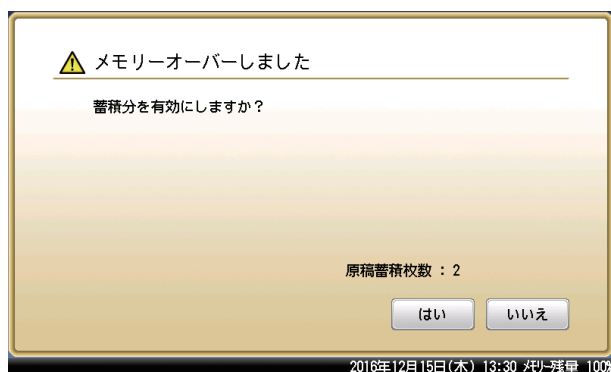
自動検知した原稿サイズに合った用紙がセットされていないときは、「自動で選択できる用紙がありません。手動で用紙を選択してください。」と表示されます。以下の画面でコピーする用紙を選択し、「確定」を押します。



倍率（拡大／縮小）を変更してコピーする場合は、「取消」を押してコピーを中止し、倍率とコピーする用紙を選択してからコピーしてください。

コピー中にメモリーオーバーしたとき

原稿蓄積中にメモリーオーバーしたときは、以下のメッセージが表示されます。



- [はい] を押すと、蓄積された原稿をコピーします。
- [いいえ] を押すと、コピーを中断します。設定を変更するか、メモリーが空くまで待ってからコピーしてください。
- 何も押さずに画面自動リセット時間（初期値：3分）が経過すると、ジョブがキャンセルされます。画面自動リセット時間は変更できます。詳細は、『機器設定・管理編』第1章の「初期値を設定する」を参照してください。

基本的なコピー操作

ここでは、基本的なコピーのしかたを説明します。

1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。

- ・原稿セットのしかたは『すぐに使える簡単設定ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質や濃度を設定します。



この操作パネルは、bizhub 2030f のものです。

2 テンキーでコピー部数を入力します。

1 ～ 999 部まで設定できます。

3 〈スタート〉を押します。

- ・コピーを中断したいときは、〈ストップ〉を押します。
- ・現在のジョブの印刷中に、「コピー予約できます」と表示されたら、次の原稿を読み取ることができます。

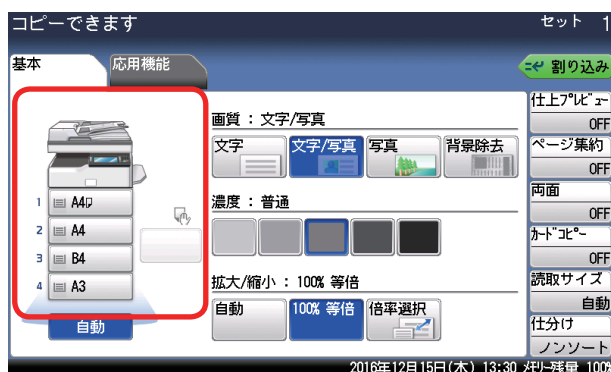
用紙を選んでコピーする（用紙）

コピーしたい用紙を選択してコピーできます。

1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。

- ・原稿セットのしかたは『すぐに使える簡単設定ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質や濃度を設定します。

2 コピーする用紙を選択します。



- ・[自動] を選択すると、原稿サイズと設定された倍率から適切な用紙を自動的に選択します。
- ・倍率が自動に設定されている場合、用紙を自動に設定すると、倍率は 100 % に変更されます。
- ・手差しトレイを使ってコピーする場合は、「[手差しトレイを使ってコピーする](#)」(1-7 ページ) を参照してください。

3 テンキーでコピー部数を入力します。

1 ～ 999 部まで設定できます。

4 〈スタート〉を押します。

手差しトレイを使ってコピーする

用紙カセットにセットできない用紙を手差しトレイにセットしてコピーできます。

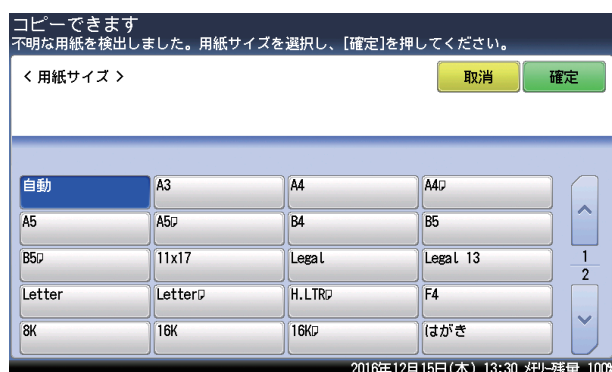
1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。

- ・原稿セットのしかたは『すぐに使える簡単設定ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質や濃度を設定します。

2 手差しトレイを開き、用紙をセットします。

用紙のセットのしかたは、『すぐに使える簡単設定ガイド』の「用紙をセットする」の「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

3 手差しトレイの用紙が検出されなかった場合は、用紙選択画面が表示されます。用紙サイズを選択し、[確定]を押します。



用紙サイズを設定している場合や、用紙サイズが検出されたときは、この画面は表示されません。そのまま次の手順に進みます。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

1 ～ 999 部まで設定できます。

5 〈スタート〉を押します。

(空白ページ)

第 2 章

コピー機能

機能一覧.....	2-2
使用できる機能について	2-2
自動両面原稿送り装置について	2-5
コピー機能.....	2-6
画質を設定する（画質）.....	2-6
濃度を設定する（濃度）.....	2-7
用紙を仕分けする（仕分け）.....	2-8
拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）.....	2-10
コピー前にイメージを確認する（仕上がりプレビュー）.....	2-15
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約）.....	2-17
1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）.....	2-19
別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）.....	2-20
パンチの目印を付ける（センターマーク印字）.....	2-22
割り込んでコピーする	2-23
大きさの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）.....	2-24
原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）.....	2-25
両面コピーする（両面）.....	2-26
小冊子になるようにコピーする（小冊子）.....	2-28
カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする（カードコピー）.....	2-30
2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割）.....	2-32
三つ折りの目印を付ける（三つ折りマーク印字）.....	2-33
文字の左右を逆にコピーする（鏡像）.....	2-34

機能一覧

使用できる機能について

画質 (→ 2-6 ページ)

原稿に応じて、読み取り画質を設定します。



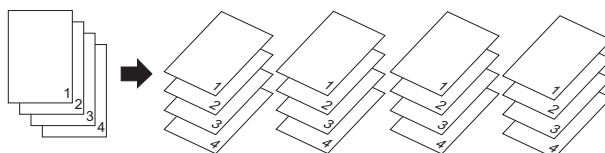
濃度 (→ 2-7 ページ)

原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。



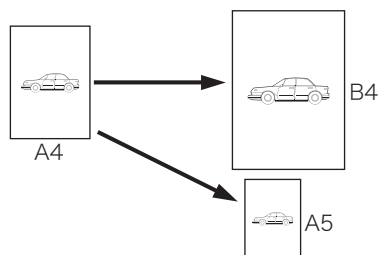
仕分け (→ 2-8 ページ)

コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。



拡大／縮小 (→ 2-10 ページ)

拡大／縮小コピーには、次の4つがあります：自動倍率（用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法）、固定倍率（倍率を設定して拡大／縮小する方法）、倍率指定（縦横の拡大／縮小率を指定する方法）、寸法指定（原稿と用紙のサイズを指定する方法）。

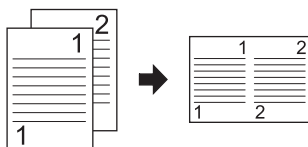


仕上がりプレビュー (→ 2-15 ページ)

用紙にコピーする前に、タッチパネル上でイメージを確認できます。

ページ集約 (→ 2-17 ページ)

2 枚、4 枚、8 枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめてコピーできます。

**リピート (→ 2-19 ページ)**

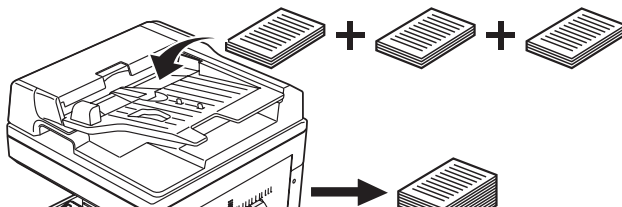
1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。

繰り返しの回数は、2 回、4 回、8 回より選択できます。

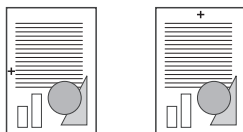
**連続読み込み (→ 2-20 ページ)**

原稿が自動両面原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。

自動両面原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。

**センターマーク印字 (→ 2-22 ページ)**

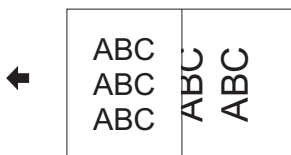
パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」をプリントできます。

**割り込み (→ 2-23 ページ)**

コピー中に割り込んで別の原稿をコピーできます。

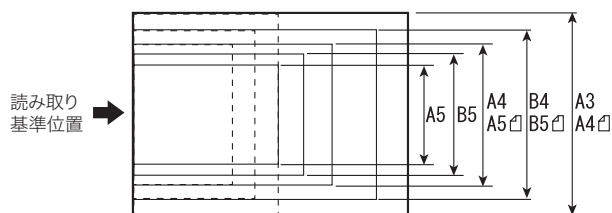
ミックス原稿 (→ 2-24 ページ)

幅が同じで長さが違う原稿（たとえば A3 と A4 ）を一緒に自動両面原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にコピーできます。



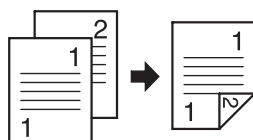
読み取りサイズ (→ 2-25 ページ)

指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。



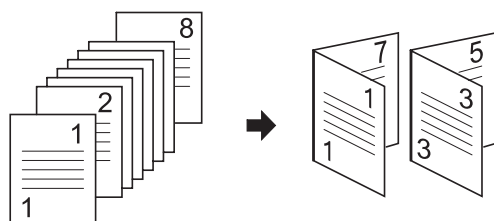
両面コピー (→ 2-26 ページ)

両面原稿をコピーしたり、両面原稿を用紙の片面にコピーしたりできます。



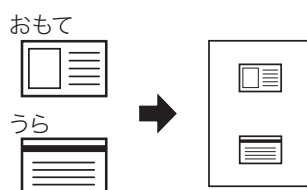
小冊子 (→ 2-28 ページ)

複数の原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーできます。
出力されたコピー用紙を中央で折ってとじれば小冊子ができます。



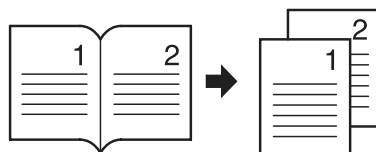
カードコピー (→ 2-30 ページ)

名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズの原稿の両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。



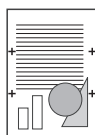
ページ分割コピー (→ 2-32 ページ)

本などの閉じた原稿の見開きページを、片面ずつ別々の用紙にコピーできます。



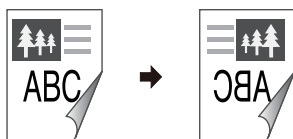
三つ折りマーク印字 (→ 2-33 ページ)

コピー後の用紙を三つ折りするときの目印になる「三つ折りマーク」を付けて、コピーできます。



鏡像コピー (→ 2-34 ページ)

原稿のイメージを鏡に写したように左右を反転させて、コピーできます。



補足

各機能には、組み合わせて設定できないものがあります。組み合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の2種類があります。

- あとから設定したものが優先される（先に設定したものは解除される）
- 先に設定したものが優先される（警告メッセージが表示される）

自動両面原稿送り装置について

利用できる機能は、自動両面原稿送り装置が装着されているかどうかで違います。

自動両面原稿送り装置		あり	なし
仕上がりプレビュー		○	○
ページ集約		○	○
両面	片面→両面	○	○
	両面→両面	○	
	両面→片面	○	
	見開き左右	○	○
	見開き裏表	○	○
カードコピー		○	○
仕分け		○	○
ミックス原稿		○	
リピート		○	○
ページ分割		○	○
読み取りサイズ		○	○
連続読み込み	自動両面原稿送り装置	○	
	ガラス面	○	○
小冊子		○	
センターマーク印字		○	○
三つ折りマーク印字		○	○
鏡像		○	○

○：利用できます

空欄：利用できません

コピー機能

補足

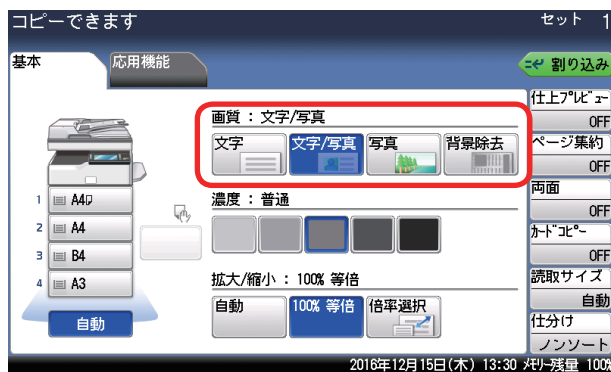
設定をよく変更する場合は、初期値を変更しておく、設定を変更する手間が省けます。
詳細は、「初期値を設定する」(3-2 ページ) を参照してください。

画質を設定する (画質)

原稿に応じて、読み取り画質を設定します。

- 文字 : 文字だけの原稿に適した設定で読み取ります。
- 文字／写真 : 写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定で読み取ります。
- 写真 : 写真や絵の原稿に適した設定で読み取ります。
- 背景除去 : 原稿の地模様や地色などの背景を消して読み取ります。

1 コピー待機画面で、画質を選択します。



濃度を設定する（濃度）

原稿に応じて、読み取り濃度を設定します。

- 薄く : 薄く読み取りたいときに選択します。
- やや薄く : 普通よりもやや薄く読み取りたいときに選択します。
- 普通 : 標準の原稿を読み取りたいときに選択します。
- やや濃く : 普通よりもやや濃く読み取りたいときに選択します。
- 濃く : 濃く読み取りたいときに選択します。

1 コピー待機画面で、濃度を選択します。



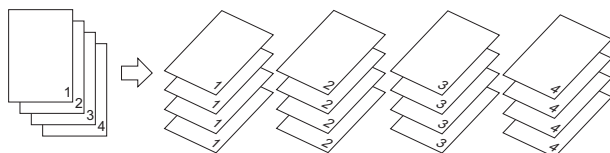
用紙を仕分けする（仕分け）

コピーをページ順にそろえられます。コピーしたあとに手作業でページをそろえる手間が省けます。

A4 と A4  の用紙がセットされているときは、コピーを 1 部ずつ交互に向きを変えて仕分けします。

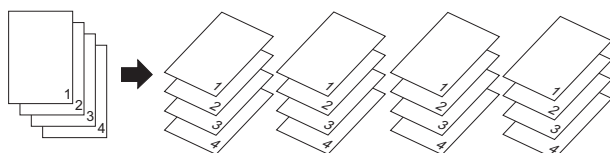
ノンソート

原稿のページごとに用紙を仕分けします。



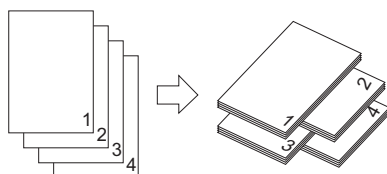
ソート

1 部ごとに用紙を仕分けします。



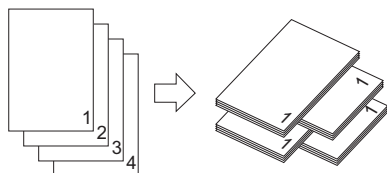
ノンソート + 回転仕分け（A4 と A4 がセットされているとき）

同じサイズの下紙をセットした場合、ページごとに向きを変えて仕分けします。



ソート + 回転仕分け（A4 と A4 がセットされているとき）

同じサイズの下紙をセットした場合、1 部ずつ交互に向きを変えて仕分けします。



補足

- 回転仕分けをするのは、A4 と A4  用紙がセットされている場合で、その用紙を使ってコピーするときだけです。
- 回転仕分けを設定するには、〈メニュー〉→ [機器設定] タブ → [用紙／仕分け] → [回転仕分け] → 「コピー部ごと」の順に押します。詳細は、『機器設定・管理編』第 1 章の「用紙に関する設定をする」を参照してください。

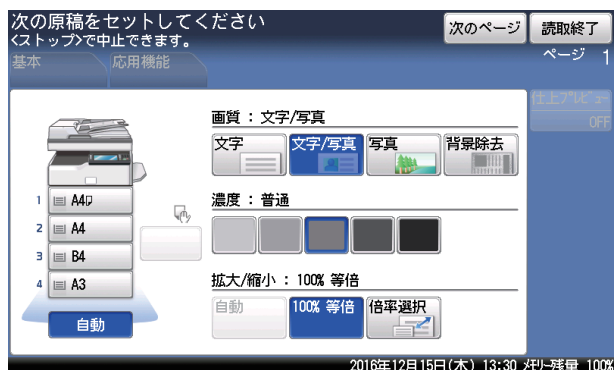
1 コピー待機画面で、[仕分け] を押します。



- ・[仕分け] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[仕分け] を選択してください。
- ・[仕分け] を押すたびに、[ソート] と [ノンソート] が切り替わります。
- ・ソートを選択すると、原稿ガラスでの連続読み込みが自動で ON に設定されます。

補足

- ・ソートを選択して原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または [スタート] を押します。



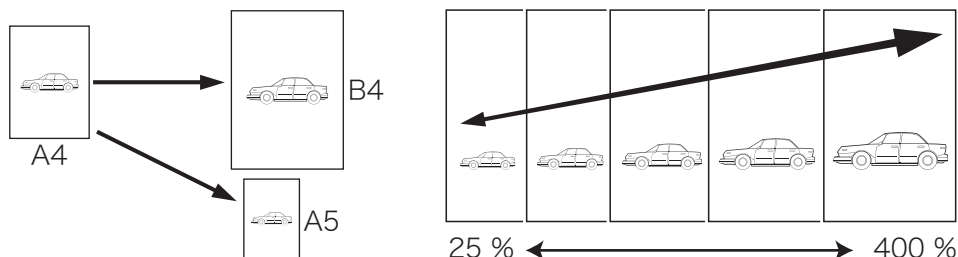
- ・読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

拡大／縮小コピーする（拡大／縮小）

拡大／縮小コピーには、次の4つがあります：

- 自動倍率（用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法）、
- 固定倍率（倍率を設定して拡大／縮小する方法）
- 倍率指定（縦横の拡大／縮小率を指定する方法）
- 寸法指定（原稿と用紙のサイズを指定する方法）

固定倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている倍率から指定する方法と、任意の倍率を設定する方法があります。



□ 用紙サイズに合わせて拡大／縮小する（自動倍率）

指定した用紙サイズに合わせて自動的に倍率を選択し、拡大／縮小コピーを行います。

原稿サイズを自動検出できないときは、手動選択した原稿サイズで自動倍率にてコピーします。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から【自動】を押します。



□ 倍率を指定して拡大／縮小する（固定倍率）

倍率を選択して、適切な用紙にコピーを行います。

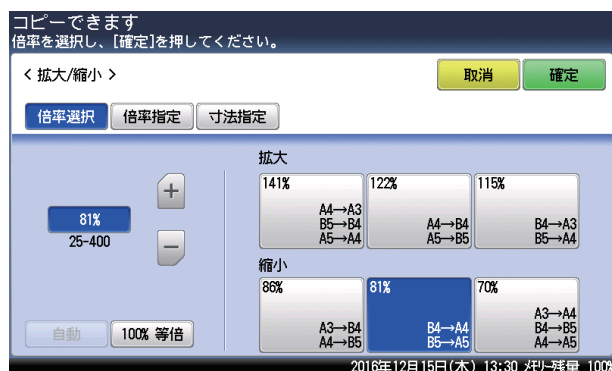
補足

- 選択した倍率によっては画像が欠けたり余白が出たりします。
- 用紙は、倍率設定に応じて自動的に選択されます。用紙を選択したいときは、用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から【倍率選択】を押します。



2 倍率を選択し、【確定】を押します。



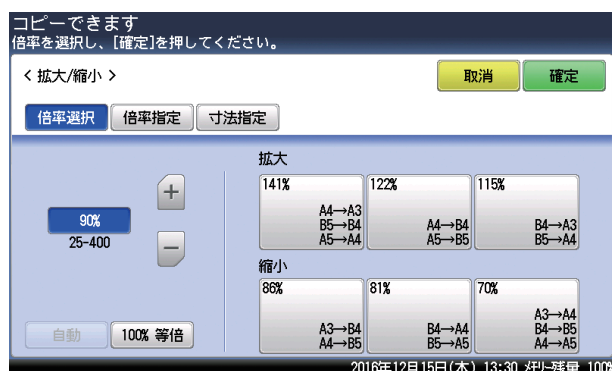
□ 任意の倍率でコピーする

倍率を 25% ～ 400% の範囲で、1% きざみで指定できます。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から「倍率選択」を押します。



2 倍率を設定し、「確定」を押します。



- ・[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。
- ・先に固定倍率を選択してから、倍率を調整することもできます。

補足

適切なサイズの手紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙セットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して「確定」を押してください。

□ 縦横の拡大 / 縮小率を指定する（倍率指定）

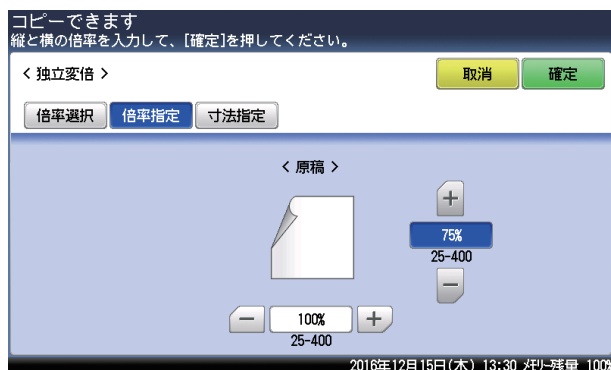
拡大・縮小率を原稿の縦横でそれぞれ 25 % ～ 400 % の範囲で、1 % きざみで指定できます。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から【倍率選択】を押します。



2 【倍率指定】を押します。

3 縦または横の入力ボックスを選択し、倍率を設定します。



[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。

4 【確定】を押します。

補足

適切なサイズの手紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙力セットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して【確定】を押してください。

□ 原稿と用紙のサイズを指定する（寸法指定）

原稿のサイズとコピー後のサイズを入力して、コピー後の長さになるように倍率を計算してコピーできます。

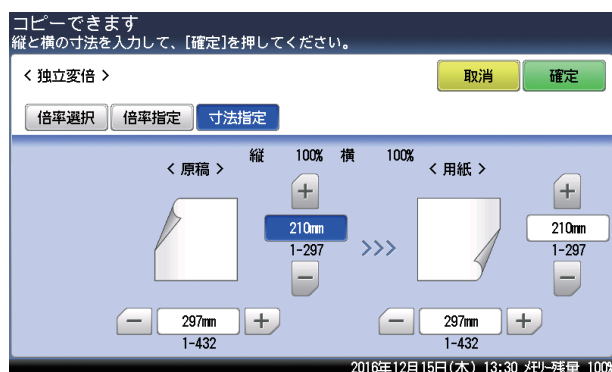
計算された倍率が 25 % より小さくなるときや 400 % より大きくなるときは、設定できません。

1 コピー待機画面で、「拡大／縮小」から「倍率選択」を押します。



2 「寸法指定」を押します。

3 原稿と用紙のサイズを入力します。



[+] と [-] またはテンキーで倍率を入力します。

4 「確定」を押します。

□ 補足

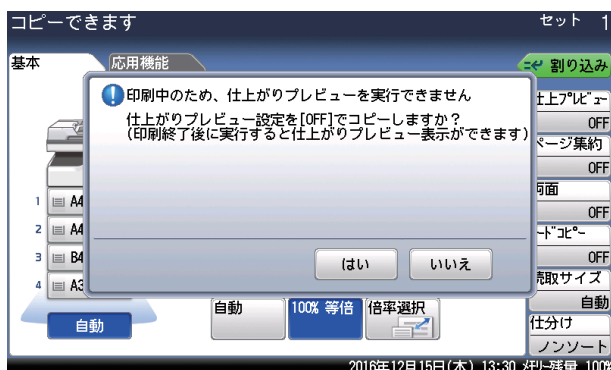
適切なサイズの用紙がないときは、〈スタート〉を押したときに、使用する用紙カセットまたは手差しを選択する画面が表示されます。(→ 1-3 ページ) 使用する用紙を選択して「確定」を押してください。

コピー前にイメージを確認する（仕上がりプレビュー）

用紙にコピーする前に、タッチパネル上で読み取ったイメージを確認できます。

補足

- ・仕上がりプレビューを使用中は、割り込みコピーができません。
- ・イメージの作成中にメモリーオーバーが発生した場合は、イメージが確認できません。イメージを確認せずに、[印刷実行] を押すか [印刷中止] を押してメモリーに空きができてからやり直してください。
- ・機器がほかのジョブをプリントしているときは、この機能は使用できません。〈スタート〉を押すと下記の画面が表示されます。仕上がりプレビュー設定を OFF にするのか、プリントが終了するまで待つてやり直すのか、選択してください。



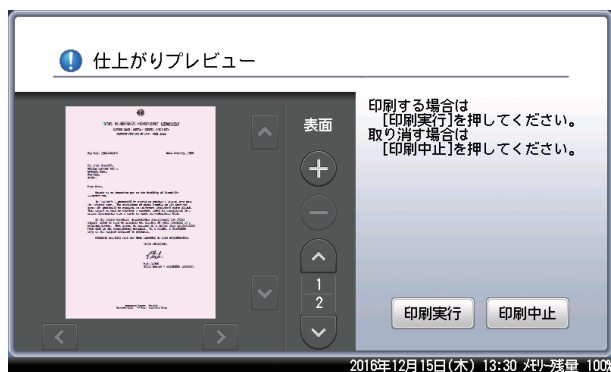
- 1 原稿をセットし、〈コピー〉を押します。
- 2 コピー待機画面で、[仕上プレビュー] を押します。



- ・[仕上プレビュー] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[仕上がりプレビュー] を選択してください。
- ・[仕上プレビュー] を押すたびに、機能の ON と OFF が切り替わります。

- 3 〈スタート〉を押します。

4 イメージを確認します。



- ・[▲] や [▼] を押すと、ページを送ったり戻したりできます。
- ・[+] を押すと、拡大して表示できます。[-] を押すと、元の表示に戻ります。
- ・[+] を押して拡大表示をしているときは、[◀]、[▶]、[↶]、[↷] を押すと、表示範囲を変更できます。
- ・用紙の両面にプリントする場合は、「表面」と「裏面」が表示されます。

5 コピーを開始する場合は、[印刷実行] または〈スタート〉を押します。

コピーを中止したい場合は、[印刷中止] を押します。

複数枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする（ページ集約）

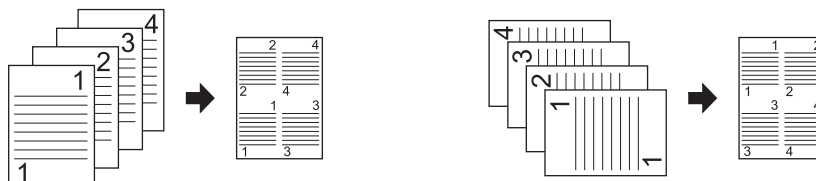
複数枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。

2 枚、4 枚、8 枚のいずれかの原稿を 1 枚の用紙にコピーできます。

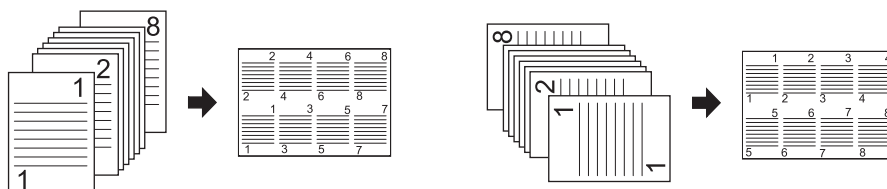
原稿 2 枚を 1 枚に



原稿 4 枚を 1 枚に



原稿 8 枚を 1 枚に



補足

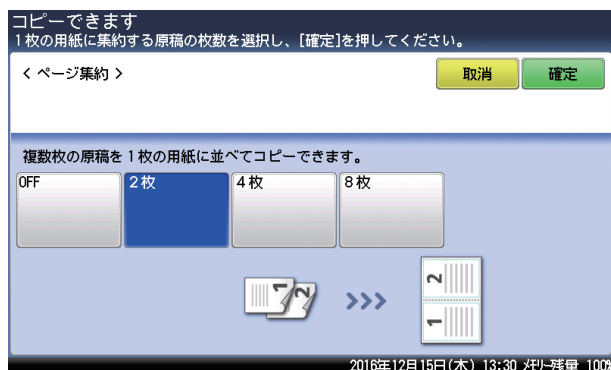
- ページ集約を設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、ページ集約設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約枚数より少ないとき、足りない分は白紙がコピーされます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、ページ集約設定後に用紙を選択してください。
- 4 枚または 8 枚を集約する場合は、原稿のセット方向によって並び順が異なります（上図参照）。ただし、コピー倍率が自動以外のときや用紙の向きによっては、並び順が上図のようにならない場合があります（上図はコピー倍率が自動のときの例です）。

1 コピー待機画面で、[ページ集約] を押します。



[ページ集約] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[ページ集約] を選択してください。

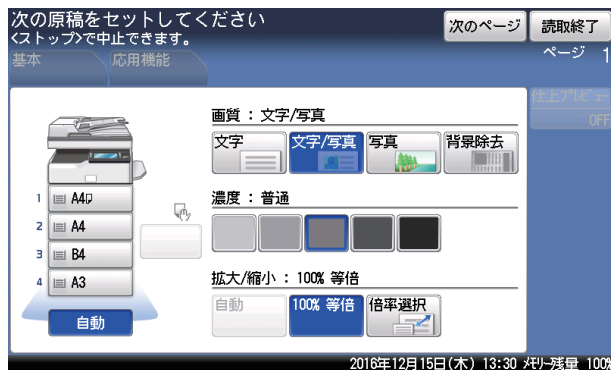
2 1 枚の用紙に集約する原稿の枚数を選択し、[確定] を押します。



[OFF] を選択すると、ページ集約の設定が OFF になります。

補足

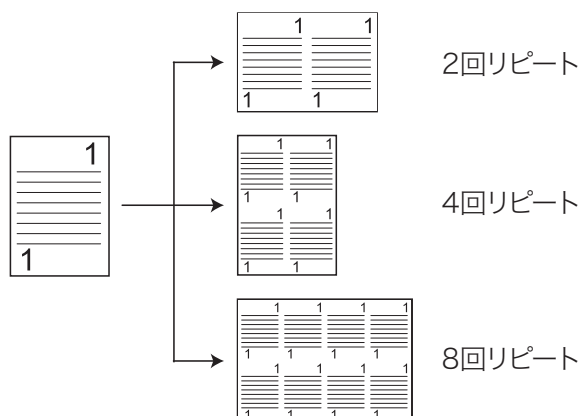
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または 〈スタート〉 を押します。



- 読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。
繰り返しの回数は、2 回、4 回、8 回より選択できます。

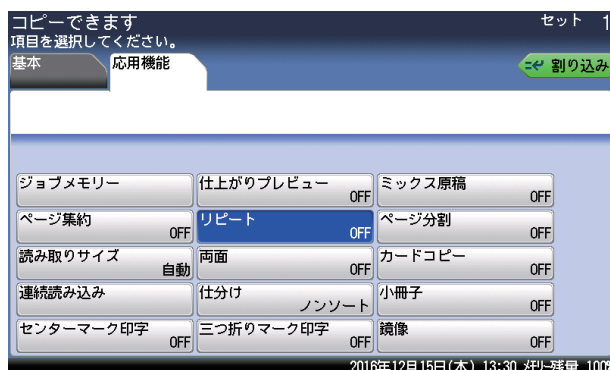


補足

- リピートコピーを設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、リピートコピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を設定したいときは、リピートコピー設定後に用紙を選択してください。
- 用紙と原稿によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [リピート] を押します。



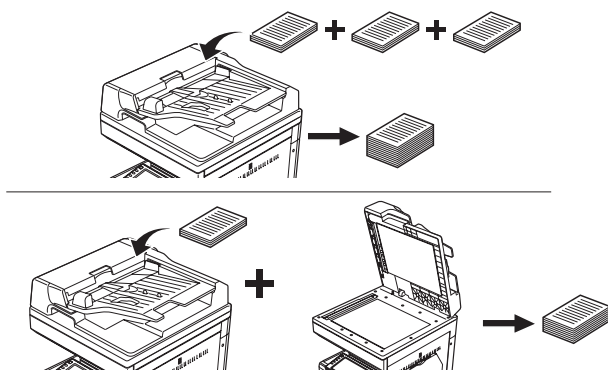
3 リピートする回数を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、リピートの設定が OFF になります。

4 必要に応じて、コピーする用紙を選択します。
用紙の向きにより、原稿のセット方法が変わります。

別の原稿を続けて読み取る（連続読み込み）

原稿が自動両面原稿送り装置にセットしきれない枚数のときや、原稿ガラスで複数ページを読み取りたいときなどは、「連続読み込み」設定を ON にして、原稿を数回に分けて読み取ります。

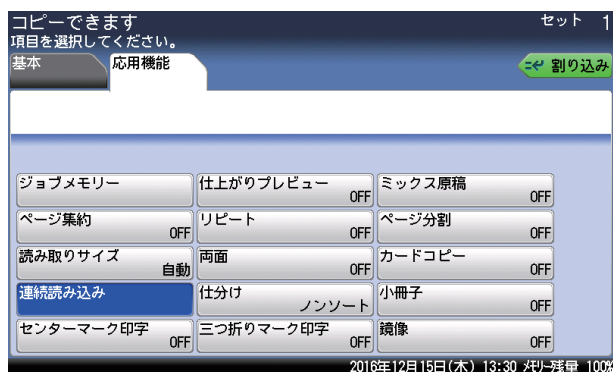
自動両面原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使って原稿を読み取ることもできます。



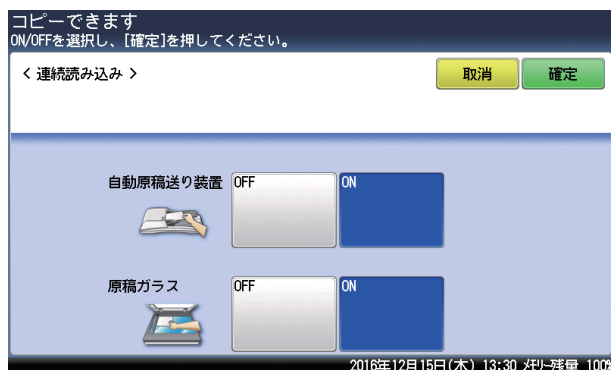
補足

設定する機能によっては、初期値の設定にかかわらず、原稿ガラスの連続読み込み設定が ON になります。

- 1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
- 2 [連続読み込み] を押します。



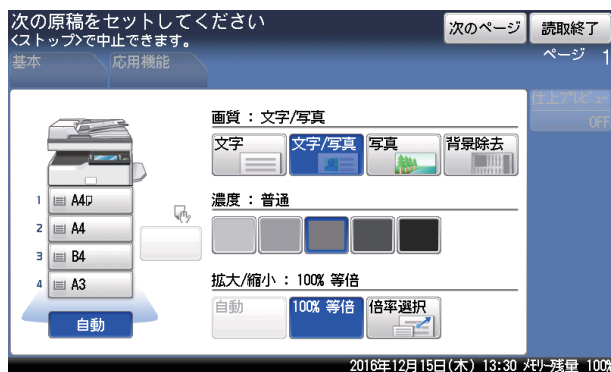
3 「ON」を選択し、[確定]を押します。



- ・[OFF]を選択すると、連続読み込みの設定がOFFになります。
- ・設定は自動両面原稿送り装置と原稿ガラスで、個別に設定します。

補足

- ・連続読み込みを「ON」にしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または 〈スタート〉 を押します。
- ・この画面が表示されているときに、画質、濃度、または拡大 / 縮小の設定が変更できます。



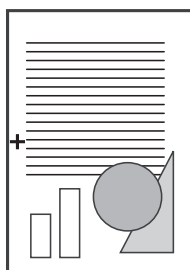
- ・読み取りを終了するときは、[読取終了]を押します。

パンチの目印を付ける (センターマーク印字)

パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」を付けて、コピーできます。
センターマークは、次のようにプリントされます：

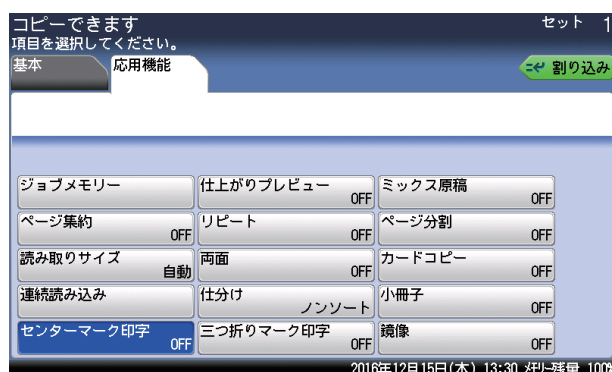
- 用紙の1ページ目にだけプリントされます。
- 選択した辺の中心にプリントされます。
- 用紙種類が「普通紙」の場合だけプリントされます。用紙種類をはがきや封筒にセットしたときは、プリントできません。

サンプル：

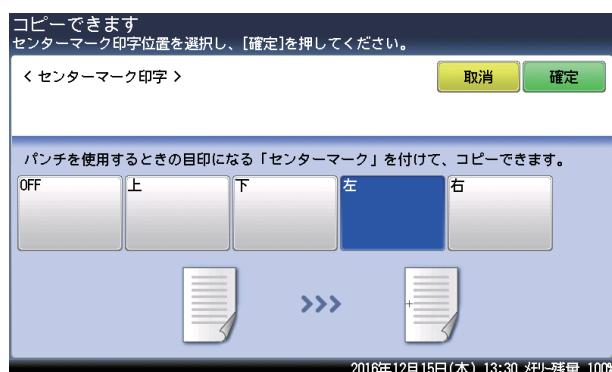


1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [センターマーク印字] を押します。



3 センターマークを付ける位置を選択し、[確定] を押します。



[OFF] を選択すると、センターマーク印字の設定が OFF になります。

割り込んでコピーする

プリント中に割り込んで別の原稿をコピーできます。
割り込みコピー中は「コピー予約できます」と表示されます。

補足

以下の場合には割り込みコピーができません。

- ・原稿読み取り中
- ・機器設定の操作中

1 プリント中に【割り込み】を押します。

2 割り込んでコピーする原稿をセットします。

- ・原稿セットのしかたは『すぐに使える簡単設定ガイド』の「原稿をセットする」を参照してください。
- ・必要に応じて画質（→ 2-6 ページ）や濃度（→ 2-7 ページ）を設定します。

3 〈スタート〉を押して、割り込みコピーを行います。

4 割り込みコピー終了後、【割り込み】を押します。

割り込む前の画面に戻ります。プリント中に割り込んだ場合は、中断したプリントが自動的に再開されます。

補足

画面自動リセット時間で設定した時間が経過すると、割り込みは自動的に解除されます。
画面自動リセット時間の詳細については『機器設定・管理編』第 1 章の「初期値を設定する」を参照してください。

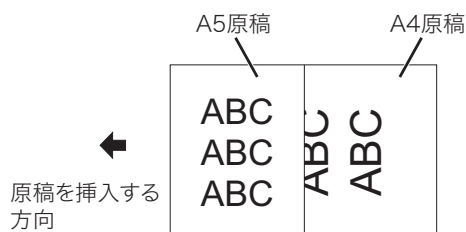
大きさが違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）

幅が同じで長さが違う原稿（たとえば A4 と A5 ) を一緒に自動両面原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの下紙にコピーできます。

ミックスコピーが有効な原稿サイズの組み合わせは、A3 と A4 、A4 と A5 、または B4 と B5 です。

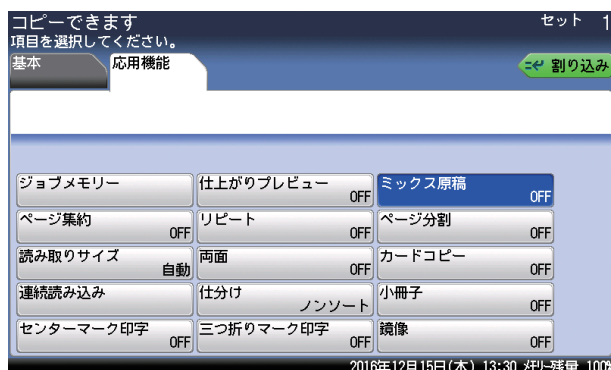
補足

- この機能は、自動両面原稿送り装置が装着されてるときに利用できます。
- 原稿は、自動両面原稿送り装置にセットしてください。
- 以下のイメージのように、原稿の幅と先端をそろえてセットしてください。



1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [ミックス原稿] を押します。



3 [ON] を選択し、[確定] を押します。

[OFF] を選択すると、ミックス原稿の設定が OFF になります。

原稿の読み取りサイズを指定する（読み取りサイズ）

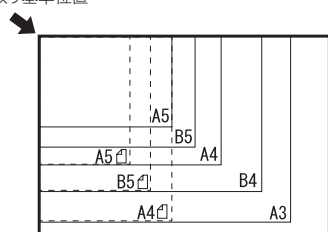
指定したサイズの範囲だけ原稿を読み取ります。

自動両面原稿送り装置に原稿をセットした場合は、原稿の中心を基準に設定したサイズの幅で原稿の長さの分を読み取ります。

原稿ガラスに原稿をセットした場合は、セット基準位置から設定したサイズ分だけ読み取ります。原稿ガラスで本などをコピーするときに、原稿サイズを指定すると、コピーの外側に黒い影ができるのを防げます。

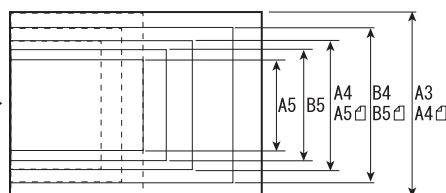
原稿ガラス

読み取り基準位置



自動両面原稿送り装置

読み取り基準位置



1 コピー待機画面で、[読取サイズ] を押します。



[読取サイズ] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[読み取りサイズ] を選択してください。

2 コピーする原稿のサイズを選択し、[確定] を押します。

両面コピーする（両面）

両面原稿をコピーしたり、両面原稿を用紙の片面にコピーしたりできます。

！お願い

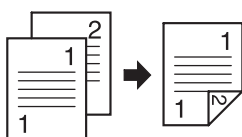
両面コピーは定形サイズの普通紙にコピーしてください。不定形サイズを用紙や普通紙以外の用紙（厚紙やはがきなど）を使用した場合、用紙がつまる恐れがあります。

補足

- 両面コピーを設定すると、ソートが自動的に ON に設定されます。
- 両面→両面、両面→片面のコピーは、自動両面原稿送り装置が装着されてるときに利用できます。原稿を自動両面原稿送り装置にセットしてください。
- 見開き左右、見開き裏表のコピーを行う場合は、原稿を原稿ガラスにセットしてください。

両面コピーの種類

片面→両面

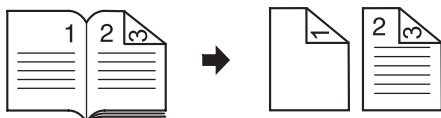


見開き左右

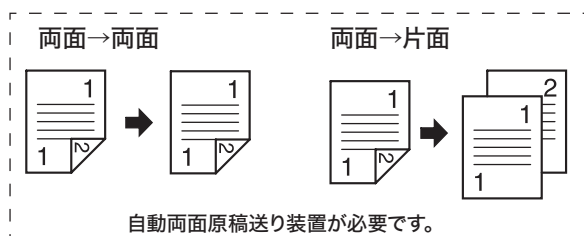


本などの見開きページの左右のページを両面にコピーします。

見開き裏表



本などの見開きページと同じ見開き状態になるように両面コピーします。



コピーのとじかたについて

原稿や用紙のとじかたを以下のように呼びます。

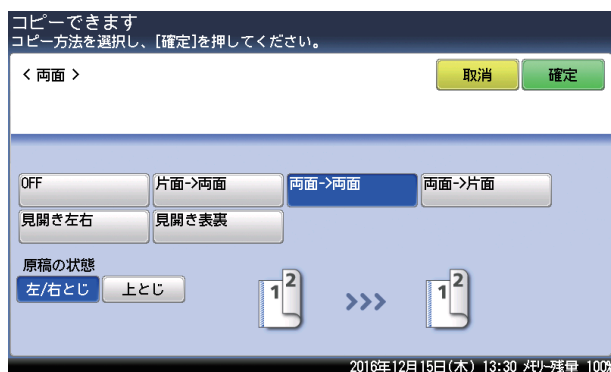
左／右とじ		上とじ
左とじ	右とじ	
左側でとじられているとき	右側でとじられているとき	上側でとじられているとき

1 コピー待機画面で、[両面] を押します。



[両面] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[両面] を選択してください。

2 両面コピーの種類を選択します。



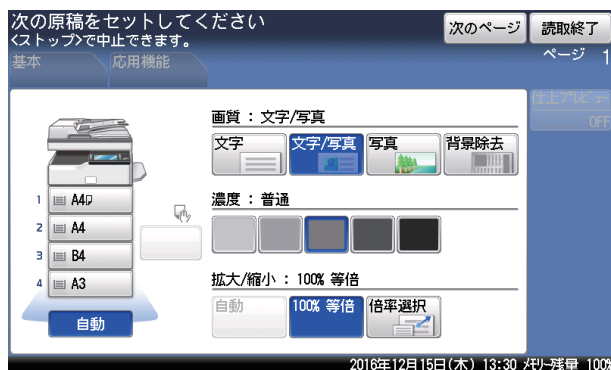
[OFF] を選択すると、両面の設定が OFF になります。

3 とじ位置を選択します。

4 [確定] を押します。

補足

- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、原稿を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。次の原稿をセットして [次のページ] または 〈スタート〉 を押します。



- 読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

小冊子になるようにコピーする（小冊子）

複数の原稿を、とじ位置を決めて小冊子となるようにコピーできます。
出力されたコピー用紙を中央で折ってとじれば小冊子ができます。

補足

- この機能は、自動両面原稿送り装置が装着されてるときに利用できます。原稿を自動両面原稿送り装置にセットしてください。
- 小冊子を設定すると、自動的に自動倍率が設定されます。倍率を設定したいときは、小冊子設定後に倍率を設定してください。

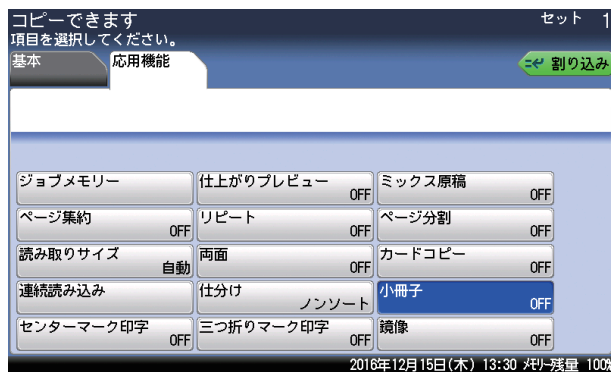
とじ位置と原稿のセット方法について

用紙の向きによって設定できるとじ位置が変わります。

設定	原稿のセット方法
左とじ	原稿の挿入方向 とじ位置 コピー 左開きの小冊子を作りたいとき、左とじを選択します。
右とじ	原稿の挿入方向 とじ位置 コピー 右開きの小冊子を作りたいとき、右とじを選択します。
上とじ	原稿の挿入方向 とじ位置 コピー 上開きの小冊子を作りたいとき、上とじを選択します。

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [小冊子] を押します。

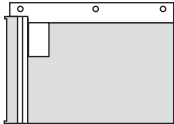
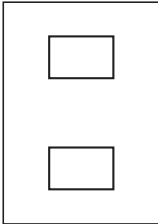
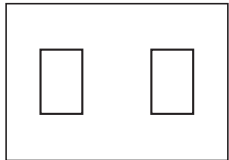
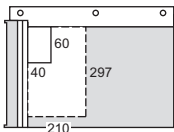
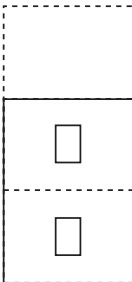
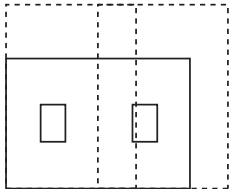


3 とじ位置を選択し、[確定] を押します。

[OFF] を選択すると、小冊子の設定が OFF になります。

カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする(カードコピー)

名刺、免許証などのカードまたは、不定形サイズのカードの両面を 1 枚の用紙に並べてコピーできます。

	セット方向	コピー結果 (A4 用紙、コピー倍率 100 % の場合)	
		☐ 用紙	用紙
名刺 縦 91 × 横 55 (mm)			
免許証 縦 86 × 横 54 (mm)			
不定形サイズ 縦：60 ～ 297 (mm) 横：40 ～ 210 (mm)			

補足

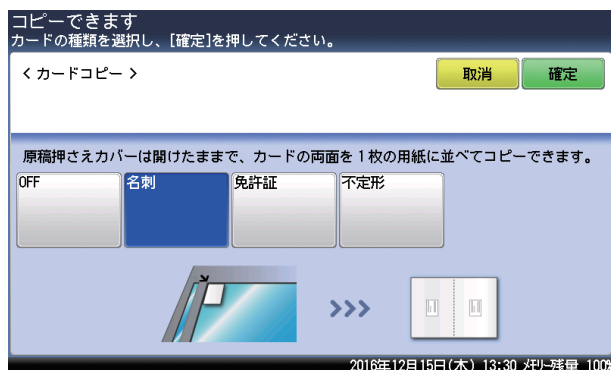
- 原稿は、原稿ガラスにセットしてください。
- 原稿押さえカバーは開けたままで、コピーできます。
- 用紙を自動選択にしている場合は、用紙の自動選択が解除されます。用紙を選択したいときは、カードコピーを設定したあとに、希望の用紙がセットされている用紙カセットを選択してください。
- 設定や用紙の条件によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。

1 コピー待機画面で、[カードコピー] を押します。



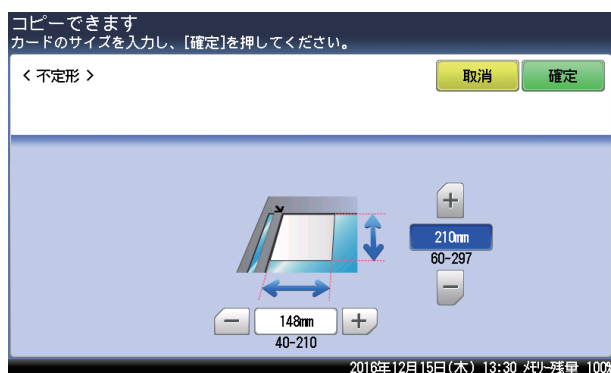
[カードコピー] が表示されていないときは、[応用機能] タブを押して、[カードコピー] を選択してください。

2 カードの種類を選択します。



- ・[OFF] を選択すると、カードコピーの設定が OFF になります。
- ・原稿ガラスでの連続読み込みが自動で ON に設定されます。
- ・[名刺] または [免許証] を選択したときは、手順 4 に進みます。
- ・[不定形] を選択したときは、次の手順に進みます。

3 カードのサイズを設定し、[確定] を押します。



- ・[+]、または [-] を押して、カードのサイズを設定します。
- ・テンキーでサイズを設定するときは、原稿サイズの入力ボックスを押してから値を入力してください。

4 [確定] を押します。

5 <スタート> を押します。

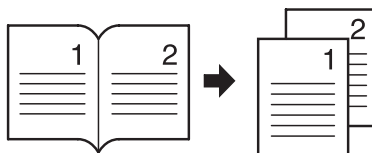
6 カードのおもて面を読み取ったあとに「次の原稿をセットしてください」と表示されます。カードを裏返してセットして、[次のページ] を押します。



読み取りを終了するときは、[読取終了] を押します。

2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割）

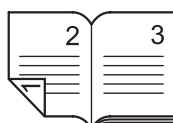
本などの閉じた原稿の見開きページを、片面ずつ別々の用紙にコピーできます。



補足

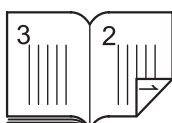
- 原稿は、原稿ガラスにセットしてください。
- 原稿や用紙のとじかたを以下のように呼びます。

左とじ



左側でとじられているとき

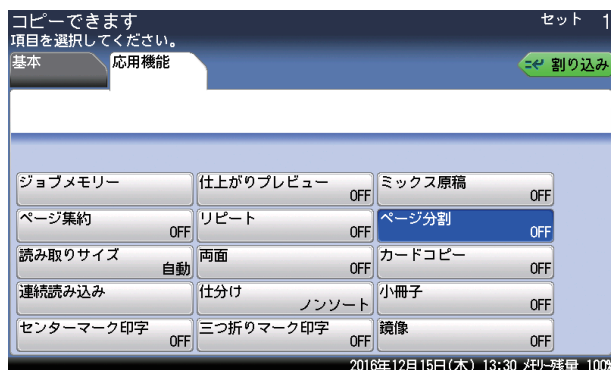
右とじ



右側でとじられているとき

1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [ページ分割] を押します。



3 とじ位置を選択し、[確定] を押します。

[OFF] を選択すると、ページ分割の設定が OFF になります。

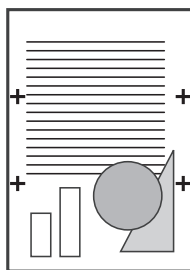
三つ折りの目印を付ける（三つ折りマーク印字）

コピー後の用紙を三つ折りするときの目印になる「三つ折りマーク」を付けて、コピーできます。

三つ折りマークは、次のようにプリントされます：

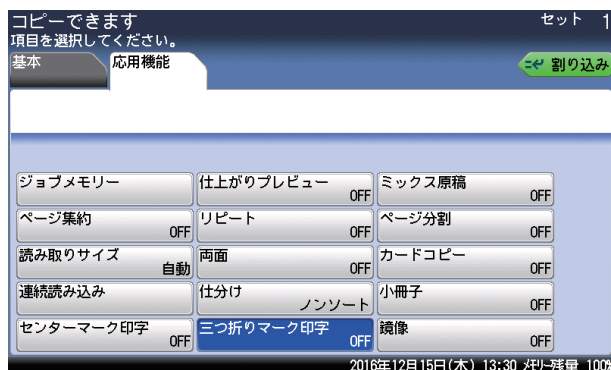
- 用紙の1ページ目にだけプリントされます。
- 用紙の長辺にプリントされます。
- 用紙種類が「普通紙」の場合だけプリントされます。用紙種類をはがきや封筒にセットしたときは、プリントできません。

サンプル：



1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。

2 [三つ折りマーク印字] を押します。

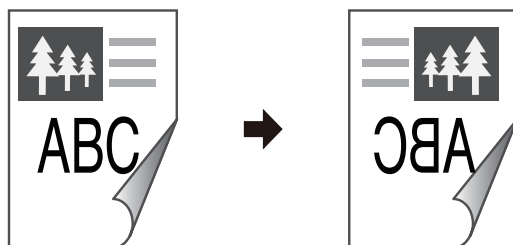


3 [ON] を選択し、[確定] を押します。

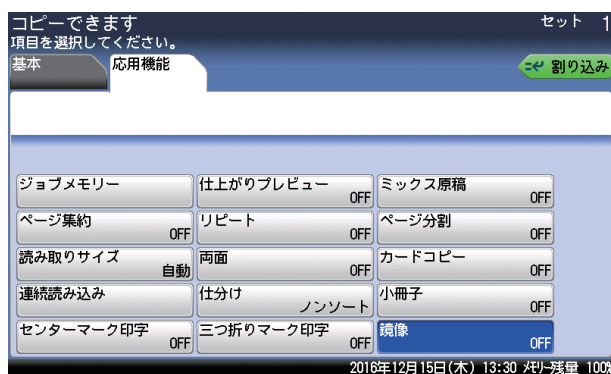
[OFF] を選択すると、三つ折りマーク印字の設定が OFF になります。

文字の左右を逆にコピーする（鏡像）

原稿のイメージを鏡に写したように左右を反転させて、コピーできます



- 1 コピー待機画面で、[応用機能] タブを押します。
- 2 [鏡像] を押します。



- 3 [ON] を選択し、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、鏡像の設定が OFF になります。

第 3 章

機器設定のしかた

初期値を設定する	3-2
コピー機能の初期値を設定する	3-2
初期値設定一覧	3-4
コピー予約を設定する	3-5

初期値を設定する

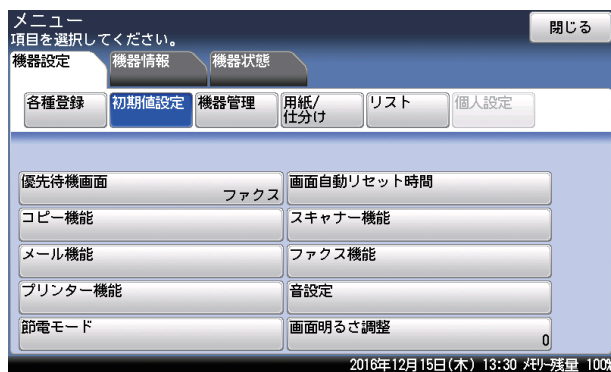
初期値とは、〈リセット〉を押したときに設定される値のことです。何も操作せずに一定時間放置したときも、初期値に戻ります。よく使う設定を初期値にしておくと、操作のたびに設定する手間が省けます。

補足

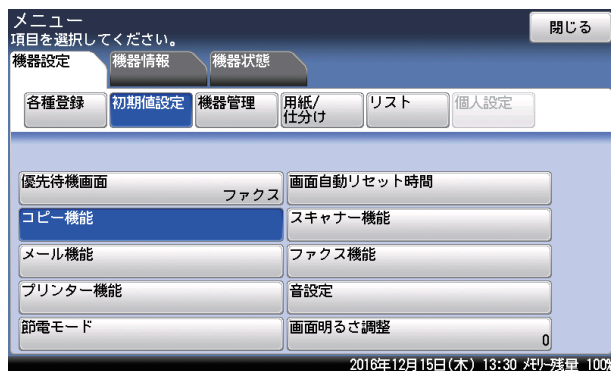
初期値に戻るまでの時間（画面自動リセット時間）を設定できます。詳細は、『機器設定・管理編』第1章の「初期値を設定する」を参照してください。

コピー機能の初期値を設定する

- 1 〈メニュー〉を押します。
- 2 [機器設定] タブ、[初期値設定] の順に押します。

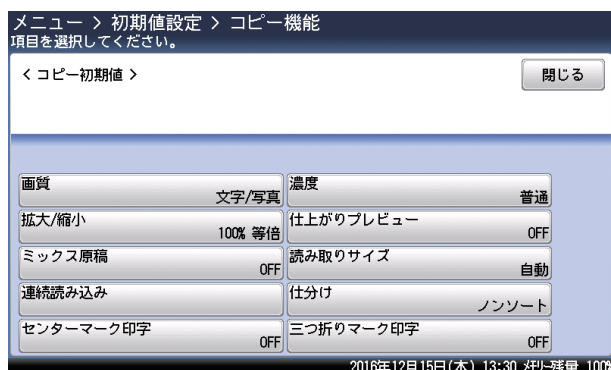


- 3 [コピー機能] を押します。



4 [コピー初期値] を押します。

5 設定したい機能を選択します。



6 初期値を選択し、[確定] を押します。

続けてほかの初期値を変更する場合は、手順 5 から操作を繰り返します。

7 [閉じる] を押します。

これで手順は終了です。

初期値設定一覧

設定方法は、「[コピー機能の初期値を設定する](#)」(3-2 ページ) を参照してください。

機能	機能説明	設定値
画質	読み取り時の画質の初期値を設定します。	文字 文字／写真 写真 背景除去
濃度	読み取り時の濃度の初期値を設定します。	薄く やや薄く <u>普通</u> やや濃く 濃く
拡大／縮小	コピー倍率の初期値を設定します。	自動 100%等倍
仕上がりプレビュー	コピーのイメージをタッチパネル上で確認できます。	OFF ON
ミックス原稿 ^{*1}	ミックス原稿読み取りの初期値を設定します。	OFF ON
読み取りサイズ	読み取りサイズの初期値を設定します。 よくコピーする原稿サイズを初期値に設定しておくと、設定の手間が省けます。	自動 A3 A4 A4  A5 A5  B4 B5 B5 
連続読み込み	ON に設定すると、別々の原稿を続けて読み込んだあとに、1つの原稿としてコピーできます。	自動両面原稿送り装置 ^{*1} OFF、ON 原稿ガラス OFF、ON
仕分け	ソート機能の初期値を設定します。	<u>ノンソート</u> ソート
センターマーク印字	パンチを使用するときの目印になる「センターマーク」を付けて、コピーできます。	OFF 上 下 左 右
三つ折りマーク印字	コピー後の用紙を三つ折りするときの目印になる「三つ折りマーク」を付けて、コピーできます。	OFF ON

* 1 この機能は、自動両面原稿送り装置が装着されてるときに利用できます。

補足

__の付いている値が、工場出荷時の設定です。

コピー予約を設定する

コピー予約を ON にすると、コピーの印刷中に次の原稿を読み取ることができます。予約できる件数は、10 件です。

- 1 〈メニュー〉を押します。
- 2 [機器設定] タブ、[初期値設定] の順に押します。
- 3 [コピー機能] を押します。
- 4 [その他の設定] を押します。
- 5 [コピー予約] を押します。
- 6 [ON] を選択し、[確定] を押します。
- 7 [閉じる] を押します。
これで手順は終了です。

(空白ページ)



KONICA MINOLTA

コニカミノルタ ジャパン株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1